

[023] 言語文化論究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9465>

出版情報：言語文化論究. 23, 2008-02-28. 九州大学大学院言語文化研究院
バージョン：
権利関係：

個人研究業績一覧
(2006年11月～2007年10月)

言語環境学部門

言語教育学講座

井上 奈良彦

【論文】

- 「プロトタイプ性の検証—日本語分類辞『本』に関する母語話者と非母語話者の判断」『臺大日本語文研究』(台湾・國立臺灣大學日本語文學系) Vol. 12、75-106頁、2006年12月。(共著)
- 「卒業生による全学教育英語プログラムの遡及評価：『仕事で英語を使う』九州大学卒業生対象の個人面接の分析から」『大学教育』(九州大学高等教育開発推進センター) Vol. 13、41-58頁、2007年3月。(共著)

【その他】

- 『台湾における日本語ディベート教育の実践研究』((財)交流協会 2006年度日台研究支援事業報告書)、全80頁、2007年3月。(報告書)

志水 俊広

【論文】

- 「英語標準化テストに見る九大1年生の英語力」『大学教育』(九州大学高等教育開発推進センター) 第13号、59-64頁、2007年3月。
- 「学習者から見た中国と韓国の英語教育—九大の留学生に聞く」*Studies in English Teaching and Learning in East Asia* (大学英語教育学会九州沖縄支部・東アジア英語教育研究会) No.2、61-64頁、2007年8月。

【その他】

- 『A Passage to English : 大学生のための基礎的英語学習情報 (第5版)』九州大学大学院言語文化研究院英語I共通教科書編集委員会編、九州大学出版会、全114頁、2007年3月。(教科書、徳見道夫・江口巧・大津隆広・鈴木右文・田中俊也と共編)
- 「『ブレンディング型』eラーニングの効果とラーニング・マネジメント」第38回外国語教育メディア学会九州沖縄支部研究大会(鹿児島大学)、2007年6月。(口頭発表)
- 「多様な大学環境における英語eラーニングの効果とラーニング・マネジメントの研究」第47回外国語教育メディア学会全国研究大会(名古屋学院大学)、2007年8月。(シンポジウムにおける口頭発表)

高橋 勤

【その他】

- 高田賢一、久守和子他編『英米文学事典』分担執筆「ハーマン・メルヴィル」ほか9項目担当、ミネルヴァ書房、2007年3月。(事典項目)

- 「ジョン・ブラウンとコンコード」九州アメリカ文学学会シンポジウム、司会・講師（九州大学）、2007年5月13日。（口頭発表）
- 「野性の詩学の系譜学—エマソンからスナイダーへ」日本ソロー学会シンポジウム（広島経済大学）、2007年10月12日。（口頭発表）
- “Yamao Sansei: An Introduction” および “Tree of My Own” ほか6篇の英訳. Japanese Environmental Literature: Selected Works for Reading Workshop ASLE Japan-Korea Joint Symposium, Kanazawa, Japan, 19-21 August, 2007, pp. 60-71. (翻訳)

田中 陽子

【その他】

- BERTRAND Olivier dir. (2005), *Diversités culturelles et apprentissage du français: approche interculturelle et problématiques linguistiques*: Ecole polytechnique / Palaiseau / France, 217 p., (in) *Revue japonaise de didactique du français* (日本フランス語教育学会) vol. 2, no. 1, pp. 325-328, 2007年9月。（書評）

曹 美庚

【論文】

- 「活用形から引く韓国語 Web 辞書の開発に関する一考察」『言語科学』（九州大学大学院言語文化研究院言語研究会）第42号、49—62頁、2007年3月。

【その他】

- 「韓国語 Web 辞書の開発」第4回 e-Learning 教育学会（北海道大学）、2007年3月。（口頭発表、李相穆・細谷行輝と共同）
- 『キャンパス韓国語』白帝社、259頁、2007年4月。（教科書、李希姪と共著）
- 『キャンパス韓国語ワークブック』白帝社、137頁、2007年4月。（教科書、李希姪と共著）
- 「WebOCM を用いた韓国語授業と韓国語辞書開発」シンポジウム「eラーニングシステムとしての WebOCM」、2007年外国語メディア教育学会全国大会（名古屋学院大学）、2007年8月。（口頭発表、李相穆と共同）
- 「韓国語における e-Learning 教育の現状と課題」山口県立大学国際文化学部 FD 研究会（山口県立大学）、2007年9月。（招待講演）
- 「IT 技術を活用した韓国語教育の実践」第155回九州大学言語文化研究院言語研究会（九州大学）、2007年9月。（口頭発表）
- 「CALL と TA を活用した韓国語教育—九大の実践を中心に」19年度国立七大学外国語教育連絡協議会合同シンポジウム（東北大学）、2007年10月。（口頭発表）

中村 嘉雄

【論文】

- “Hume and Hulme: A Problem of Reality and Emotion in Hulme’s Early Aesthetics.” 『言語科学』（九州大学大学院言語文化研究院言語研究会）第42号、13—38頁、2007年3月。

松村 瑞子

【論文】

- 「日本語のAspectと動詞分類」『東アジア言語文化研究』（東アジア言語文化研究会）第8集、115-138頁、2007年6月。

【その他】

- 「漫画『名探偵コナン』中の实例分析に基づく日本語のAspectと動詞分類」第9回東アジア言語文化フォーラム（中国・上海外国語大学）、2006年12月。（口頭発表）

言語情報学講座

江口 巧

【その他】

- 『A Passage to English : 大学生のための基礎的英語学習情報（第5版）』九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編、九州大学出版会、全114頁、2007年3月。（教科書、徳見道夫・大津隆広・志水俊広・鈴木右文・田中俊也と共編）

大津 隆広

【論文】

- “A Cognitive Account of Anaphoric Expressions in English.” *Current Trends in Pragmatics*, eds. Piotr Cap and Joanna Nijakowska (Cambridge Scholars Publishing), Chapter 4, pp. 74-92. 2007年6月。

【その他】

- 『A Passage to English : 大学生のための基礎的英語学習情報（第5版）』九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編、九州大学出版会、全114頁、2007年3月。（教科書、徳見道夫・江口巧・志水俊広・鈴木右文・田中俊也と共編）
- “A Metarepresentational Account of Surface and Deep Anaphora: Beyond Linguistic Control and Pragmatic Control.” 10th International Pragmatics Conference (Sweden). 2007年7月。（口頭発表）

鈴木 右文

【論文】

- 「佐々部清監督映画作品における「感謝」について」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）第22号、49-57頁、2007年2月。
- 「文字チャットにおける英文の誤用について」『英語英文学論叢』（九州大学英語英文学研究会）第57集、1-13頁、2007年3月。
- 「九州大学の英語新カリキュラムとCALL科目の導入」『言語科学』（九州大学大学院言語文化研究院言語研究会）第42号、1-11頁、2007年3月。

【その他】

- 『A Passage to English : 大学生のための基礎的英語学習情報（第5版）』九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編、九州大学出版会、全114頁、2007年3月。（教科書、徳見道夫・江口巧・大津隆広・志水俊広・田中俊也と共編）
- 「文字チャットによる英語対話演習における誤りの分析」e-Learning 教育学会第4回大会

(北海道大学)、2007年3月。(口頭発表)

- 「映画で行う英語学習」ほか全19回、『BBIQ モーニングビジネススクール』(クロスFM)、2007年5-9月。(ラジオ出演)
- 「遠隔教育システム「3D-IES」で楽しみながら英語の発信力を高める」『NRI Solutions』(野村総合研究所) Vol. 11、第1話、2007年6月。(解説)

田中 俊也

【その他】

- 『A Passage to English : 大学生のための基礎的英語学習情報 (第5版)』九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編、九州大学出版会、全114頁、2007年3月。(教科書、徳見道夫・江口巧・大津隆広・志水俊広・鈴木右文と共編)

徳見 道夫

【その他】

- 『A Passage to English : 大学生のための基礎的英語学習情報 (第5版)』九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編、九州大学出版会、全114頁、2007年3月。(教科書、江口巧・大津隆広・志水俊広・鈴木右文・田中俊也と共編)
- 「シェイクスピアの第1四部作」第46回シェイクスピア学会(早稲田大学戸山キャンパス)、2007年10月。(口頭発表)

山村 ひろみ

【著書】

- 『デイリー日西英3ヶ国語会話辞典』三省堂、全362頁、2006年12月。(監修)

【その他】

- 「書評 : Luis García Fernández & Bruno Camus Bergareche (eds.), *El pretérito imperfecto*, Gredos, 2004」*HISPANICA* 50 (日本イスペニヤ学会)、177-182頁、2006年12月。(書評)
- 「parecer-知覚のあり方と言語現象」第27回日本スペイン語学セミナー (SELE2007) (大山国際ユースホステル)、2007年8月。(口頭発表、大森洋子と共同)
- 「日本語母語話者のための点過去と線過去の教え方をめぐって」第15回関西スペイン語教授法ワークショップ (TADESKA) (茨木市立男女共生センター ローズWAM)、2007年9月8日。(報告)

国際文化共生学部門

国際共生学講座

阿部 吉雄

【論文】

- 「上海のユダヤ人難民音楽家」『言語文化論究』(九州大学大学院言語文化研究院) 第22号、29-40頁、2007年2月。
- 「上海のユダヤ人難民社会における女性の地位」『言語科学』(九州大学大学院言語文化研究院言語研究会) 第42号、39-47頁、2007年3月。

李 一清

【論文】

- 「中央アジアの社会保障—カザフスタンの社会保険と公的扶助」、『九州大学アジア総合政策センター紀要』第2号、17-34頁、2007年9月。（稲葉美由紀と共著）

稲葉 美由紀

【論文】

- 「第2部 各国社会福祉の現状 バングラデシュ」『世界の社会福祉年鑑 2006』萩原康生・松村祥子・後藤玲子・宇佐見耕一編、旬報社、372-399頁、2006年11月。
- 「第3部 国際社会福祉 ソーシャル・ディベロップメント（社会開発）」同上書、477-487頁、2006年11月。
- 「中央アジアの社会保障—カザフスタンの社会保険と公的扶助」、『九州大学アジア総合政策センター紀要』第2号、17-34頁、2007年9月。（李一清と共著）

【その他】

- 「Care Receiving in Japan: A Preliminary Qualitative Study on Elder's Perception of Their Role」第1回国際社会開発コンソーシアムアジア太平洋支部国際会議（タイ・パタヤタマサート大学研修センター）、2006年10月。（口頭発表）

大谷 順子

【著書】

- 『事例研究の革新的方法—阪神大震災被災高齢者の五年と高齢化社会の未来像』九州大学出版会、全356頁、2006年11月。（単著）
- 『国際保健政策からみた中国—政策実施の現場から』九大アジア叢書第8巻、九州大学出版会、全236頁、2007年5月。（単著）

【論文】

- 「第2部 各国社会福祉の現状 ウズベキスタン共和国」『世界の社会福祉年鑑 2007』萩原康生・松村祥子・後藤玲子・宇佐美耕一編、旬報社、337-358頁、2007年10月。
- 「第2部 各国社会福祉の現状 カザフスタン共和国」『世界の社会福祉年鑑 2006』萩原康生・松村祥子・後藤玲子・宇佐美耕一編、旬報社、321-339頁、2006年11月。
- 「第2部 各国社会福祉の現状 南アフリカ共和国」同上書、415-435頁、2006年11月。
- “The status of social development in Central Asia from gender perspectives”, *Journal of Asian Women's Studies*, Vol. 16, pp. 56-70, 2007年10月。
- 「中央アジア諸国の社会開発と国際保健—人間開発指標としての HIV 感染率および喫煙率—」『九州大学アジア総合政策センター紀要』第2号、43-56頁、2007年10月。
- 「健康教育と「人間の安全保障」」『九州大学大学院人間環境学府紀要 教育学研究』第9号、91-101頁、2007年3月。
- 「中央アジアの社会開発と保健医療事情」『Silk Road』（九州シルクロード協会）第17号、2-9頁、2007年10月。

【その他】

- 「中央アジア諸国のコミュニティとジェンダー研究」『Asian Breeze』（財）アジア女性研究・交流フォーラム）、2007年10月。

- 「書籍紹介『国際保健政策からみた中国—政策実施の現場から』(九州大学出版会、2007年)『国際開発ジャーナル』(国際開発ジャーナル社) 611号、58頁、2007年10月。
- 「書籍紹介『国際保健政策からみた中国—政策実施の現場から』(九州大学出版会、2007年)『中国語ジャーナル』(アルク) 78号、95頁、2007年9月。
- 「著書紹介『国際保健政策からみた中国—政策実施の現場から』(九州大学出版会、2007年)『九州大学附属図書館報 きゅうと NEWSLETTER』Vol. 2, No. 3、4頁、2007年10月。
- 「中央アジア市場を狙う日本たばこ産業」『現代中央アジア研究会ニュース』(現代中央アジア研究会) No. 4、2007年8月。
- 「中央アジアの HIV / エイズ流行事情」『現代中央アジア研究会ニュース』(現代中央アジア研究会) No. 3、2007年4月。
- “Rapid socio-cultural changes and aging in East Asia” in Plenary Session PL2. Ethno-cultural community psychiatry, The 13th Congress of the International Psychogeriatric Association IPA 2007 Osaka Silver Congress, Active Ageing: Wisdom for Body, Mind and Spirit (Osaka, Japan), October 2007. (口頭発表、Naotaka Shinfuku と共同)
- “Mixed methods for an exploratory study looking at the earthquake elderly survivors”, The 3rd Mixed Methods Conference (Cambridge, UK), 2007年7月。(口頭発表)
- シンポジウム「国際協力の将来と若者への期待」第二部報告者(世界銀行・世界保健機関(WHO))、九州大学大学院言語文化研究院、九州大学国際協力推進室、九州大学医学部百年講堂、2005年12月。(講演)
- QSR NVivo7 (質的データ分析ソフト) 日本語版発表会基調講演、Hulinks 社・QSR・オーストラリア大使館(東京)、2007年6月。(講演)。
- アメリカ合衆国シアトル代表団「シアトル貿易開発協議会スタディミッション」のセッション「高齢化社会への福岡の対策」講演「高齢化社会の国際比較と日本の対策」(英語)、福岡市経済振興局国際経済課および保健福祉局、在福岡アメリカ総領事館、2007年5月。(講演)
- 「国際機関の健康促進政策と活動：世界銀行と世界保健機関(WHO)で従事したタバコやエイズ対策を事例として」第4回福岡県宗像市教育セミナー連続講座、NPO 法人宗像地区人権と共生の会(宗像市中央公民館)、2006年11月。(講演)
- 「ウズベキスタンの国連ミレニアム開発目標(MDG)達成状況評価について」九州大学アジア理解講座・シルクロード地域の国際協力・社会開発シリーズ 第2回「中央アジア・ウズベキスタンにおける国際協力と社会開発」(九州大学国際ホール) 2007年6月(講演、Nargiza Jurabeova と共同)

小松 太郎

【著書】

- 『教育で平和をつくる：国際教育協力のしごと』岩波書店、全191頁、2006年12月。

【論文】

- 「ボスニアにおける教育と民族共存・融和についての考察：紛争終結11年後の模索」『教育学研究』(九州大学大学院人間環境研究院) Vol. 9、103-120頁、2007年3月。

【その他】

- 「大学教員による国際教育協力」アジア総合政策センター・国際交流推進室 国際協力シンポジウム「教育協力の世界的潮流と現場からのメッセージ」（九州大学医学部百年講堂）、2006年12月。（講演）
- “Japan’s International Education Aid Policies: Qualitative Assessment of Japanese ODA School Project in Pakistan,” Asian Society for Comparative Education (University of Hong Kong, Hong Kong), January 2007.（口頭発表）
- 「アフガニスタンの女子教育（女性教師に関わる問題）およびマドラサについて」九州大学アジア理解講座「アフガニスタンの平和と教育」（アクロス福岡）、2007年4月。（講演）
- 「紛争後のバルカン統治から：平和は教育が固める」『朝日新聞』p. 9、2007年4月20日。（新聞記事）
- 「紛争地域の教育復興：コソボの体験を通じて」『聖教新聞』p. 8、2007年4月22日。（新聞記事）
- 「開発途上国の教育」九州大学学校管理職マネジメント短期研修プログラム 九州大学教育学部（九州大学創立50周年記念講堂）、2007年7月。（講演）
- 「紛争後社会の再建と市民教育」九州大学政治哲学リサーチコア シンポジウム「市民教育を地球規模で考える」（九州大学）、2007年7月。（講演）
- “Education and Co-existence: Comparative Analysis of Civic Education and Inter-ethnic Activity in Bosnia and Herzegovina,” XIII World Congress of Comparative Education Society (University of Sarajevo, Sarajevo, Bosnia and Herzegovina), September 2007.（口頭発表）
- “Qualitative Inquiry into Local Education Administration in Pakistan,” United Kingdom Forum for Education and Training (UKFIET) (University of Oxford, Oxford, United Kingdom), September 2007.（口頭発表）
- 「紛争・共存・教育：ボスニアの今」九州大学公開講座「共生を目指す弁証法：対立から対話へ」（九州大学）、2007年10月。（講演）

谷口 秀子

【論文】

- 「ヒロインとしての魔女—『らくだい魔女はプリンセス』を中心に」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）第22号、41-47頁、2007年2月。

【その他】

- “Yamambas in Contemporary Children’s Books in Japan”, 18th Biennial Congress of IRSL (International Research Society for Children’s Literature) (Kyoto International Conference Center), 2007年8月。（口頭発表）

福元 圭太

【論文】

- 「ヴァイマルのトーマス・マン」『Neue Beiträge zur Germanistik』（日本独文学会）第132号「特集 Nation / Nationalismus」、140-158頁、2007年3月。

【その他】

- 「ヴァイマル 1987-2007」『Berichte』48号（日本ゲーテ協会）、19-21頁、2007年6月。（総説）
- 「二人のエルンスト」科学研究費補助金・基盤研究B・研究発表会（「ドイツ近・現代文学における〈否定性〉の契機とその働き」研究代表者：浅井健二郎）（九州大学人文科学研究院）2007年2月。（口頭発表）
- 「一元論的文学と言語」科学研究費補助金・基盤研究B・研究発表会（「ドイツ近・現代文学における〈否定性〉の契機とその働き」研究代表者：浅井健二郎）（九州大学人文科学研究院）2007年9月。（口頭発表）
- 「ヴァンダーフォーゲルとエコロジー」西日本日独協会例会（KKR 博多）2007年9月。（口頭発表）

ミヒェル・ヴォルフガング

【著書】

- 『中津市歴史民俗資料館 分館村上医家史料館蔵の薬箱及びランピキについて』（中津市歴史民俗資料館 分館村上医家史料館資料叢書、第4号）。第2版（彩色改訂版）、中津市教育委員会、全78頁、2007年2月。（遠藤次郎・中村輝子と共著）
- 『中津市歴史民俗資料館 分館 医家史料館叢書』第6号、中津市歴史民俗資料館、全96頁、2007年3月。（編纂）

【論文】

- 「シーボルト記念館所蔵の「阿蘭陀草花鏡図」とその背景について」『鳴滝紀要』（シーボルト記念館）第17号、9-38頁、2007年3月。
- 「中津藩医大江春塘について」『中津市歴史民俗資料館 医家史料館叢書』第6号、中津市歴史民俗資料館、55-73頁、2007年3月。

【その他】

- 「器物と文物の宝庫：世界の誇る久保記念館」『四三会誌』第84号、2006年11月、26-44頁。（抄録）
- 「向井元升と西洋医薬品について」日本薬史学会2006年会（名城大学薬学部）、2006年11月11日。（口頭発表）
- 「伝統と革新：江戸・明治期日本の医科器械について」第8回「江戸のモノづくり」国際シンポジウム（京都大学）、2006年12月6日。（口頭発表）
- “Caspar Schmalkalden”. In: Bayerische Akademie der Wissenschaften (ed): *Neue deutsche Biographie*. 23. Band, Duncker & Humblot, Berlin 2007, pp. 119-120.（新ドイツ人名事典の記事）
- 「医学分館所蔵の初期紅毛流外科関係の資料」『九州大学附属図書館研究開発室年報2005・2006』30-35頁、2006年6月。（研究ノート）
- 「四代将軍家綱時代の「薬草政策」について」洋学史学会2006年度年大会（東京電信通信大学）、2006年12月17日。（口頭発表）
- 「向井元升と西洋医学について」日本医師学会福岡地方会（アクロス福岡）、2007年2月24日。（口頭発表）
- “Pflanzen und Pflanzenkunde im euro-japanischen Austausch des 17. Jahrhunderts”.

- Botanische Museum, Berlin-Dahlem, 2007年3月24日。(講演)
- “Von Kaempfer bis Schamberger: Medizin, Heilmittel- und Pflanzenkunde im euro-japanischen Kulturaustausch des 17. Jahrhunderts”. Internationales Symposium “Brückenbauer”, EKO Haus der Japanischen Kultur, Düsseldorf, 2007年3月28–31日。(口頭発表)
 - 「江戸・明治期の貿易・販売資料に見られる西洋式医科器械について」第108回日本医史学会(大阪市立大学医学部)、2007年4月7日。(口頭発表)
 - 「人・モノ・情報：医学と医療の近代化から見た大阪について」シンポジウム「大坂の蘭学史：その背景と展開そして特徴」第108回日本医史学会総会および学術大会(大阪市立大学医学部)、2007年4月7日。(口頭発表)
 - 特別展示「伝統と革新：明治期の大阪における医科器械業」第108回日本医史学会総会および学術大会関連行事(大阪市立大学医学部)、2007年4月7–8日。(企画担当)
 - 平成19年度九州大学開学記念行事・第48回附属図書館貴重文物展示「東西の古医書に見られる病と治療：附属図書館の貴重書コレクションより」(九州大学附属図書館)、2007年5月10–17日。(企画担当)
 - 『東西の古医書に見られる病と治療：附属図書館の貴重書コレクションより』福岡：九州大学附属図書館、2007年5月、1–28頁。(展示会の図録)
 - 「海路から陸路へ：長崎街道とオランダ人」洋学史研究会(青山学院大学)、2007年6月2日。(口頭発表)
 - “Japan Extolled and Decried / Private Memoirs of the Shoguns (ed. Timon Screech)”, *Itinerario - International Journal on the History of European Expansion and Global Interaction*, Vol. 30, No. 2, 2006, pp. 160-162. (書評)
 - 「『哺乳動物心臓の刺激伝導系』のドイツ語草稿について」第5回田原・アショフシンポジウム(中津市小幡記念図書館)、2007年7月28日。(基調講演)
 - 「17世紀の日蘭交流における医薬学と植物学について」日蘭学会(東京)、2007年9月21日。(講演)
 - 「17世紀のヨーロッパ人から見た日本」(小城市歴史資料館)、2007年10月20日。(講演)
 - 「17世紀のヨーロッパ人から見た日本」小城市歴史資料館編『海外交流と小城の洋学：小城鍋島文庫に見る』、41–46頁、2007年10月。(講演録)

国際文化学講座

阿尾 安泰

【その他】

- “Les lois et les vertus dans les communautés” 第12回国際18世紀学会(フランス・モンペリエ国際フォーラム)、2007年7月。(口頭発表)

秋吉 收

【論文】

- 「『中国文学(月報)』と中国語一竹内好らの活動を軸として」『中国文学論集』(九州大学中国文学会) No. 35、58–72頁、2006年12月。
- 「『野草・影的告别』考— “行く” か “留まる” か」『言語文化論究』(九州大学言語文化研

究院) No. 22、1-11頁、2007年3月。

【その他】

- 「俞芳著『我記憶中的魯迅先生』『言語科学』(九州大学言語文化研究院) No. 42、91-107頁、2007年3月。(翻訳)
- 「“臺灣的魯迅” 賴和與大陸新文學的關係」第十五屆詩學會議—彰化詩學與文學國際學術研討會(台灣・国立彰化師範大学)、2007年6月。(口頭発表)

太田 一昭

【その他】

- 日本シェイクスピア協会編『新編シェイクスピア案内』研究社、全234頁、2007年7月。(共著)
- Jeffrey Knapp, *Shakespeare's Tribe: Church, Nation, and Theater in Renaissance England* (U of Chicago P, 2002). *Shakespeare Studies* (The Shakespeare Society of Japan), vol. 44 (2007), pp. 29-31. (書評)

小谷 耕二

【論文】

- 「フォークナーと手紙のエクリチュール」『フォークナー』(松柏社) 第9号、50-59頁、2007年4月。

佐藤 正則

【その他】

- 「御子柴道夫編『ロシア革命と亡命思想家1900-1946』『週刊読書人』2006年11月17日、第4面、2006年11月。(書評)

恒吉 法海

【その他】

- 『ジャン・パウル中短編集 II』九州大学出版会、全539頁、2007年4月。(翻訳、嶋崎順子・藤瀬久美子と共訳)
- 「『ジャン・パウル中短編集 II』 解題」同上書、521-537頁、2007年4月。(解説)

中里見 敬

【その他】

- 「抒情的文言文：《玉梨魂》的叙事与文体 “理論与文本：明清叙事理論与叙事文学” 国際學術研討会(台湾・中央研究院中国文哲研究所)、2006年12月。(口頭発表)
- 「理論与文本：明清叙事理論与叙事文学」ラウンドテーブルセッションのディスカッサント、同上学会、2006年12月。(討論)
- 「清平山堂刊行の小説をめぐって：内閣文庫蔵本の版式および刻字の状況から」九州中国学会第55回大会(大分県立芸術文化短期大学)、2007年5月。(口頭発表)
- 「論日本内閣文庫蔵清平山堂所刊小説：以版式与刻字特点為視角」2007明代文学与文化国際學術研討会暨中国明代文学学会(籌)第五届年会(中国・福建師範大学)、2007年8月。(口

頭発表)

招聘外国人教師

金 亨貞

【論文】

- 「‘와’ 보충어의 분포 및 특성」 [韓国語における<ワ (wa) 格補語の分布及び特性] 『한글』 [ハングル] (한글학회) [ハングル学会]、第274号、99-128頁、2006年12月。(原文? 韓国語)

李 麗君

【論文】

- 「出版メディアとの共闘と葛藤—1920年代：郁達夫の社会文化的研究 (5)」 『言語文化論究』 (九州大学大学院言語文化研究院) 第22号、13-28頁、2007年2月。
- 「郁達夫留日論考」 『浙江学刊』 (中国・浙江省社会科学院) 2007年第2期、72-78頁、2007年3月。
- 「日常生活における『頹廢』的側面について—1920年代：郁達夫の社会文化的研究 (4)」 『言語科学』 (九州大学大学院言語文化研究院言語研究会) 第42号、63-76頁、2007年3月。